

⑤ 姫路東消防署の老朽化対応について

1 概要

姫路東消防署は、市中心部の消防拠点施設として、また世界文化遺産国宝姫路城の防災保安施設として、重要な役割を果たしている。

現庁舎は、昭和50年から使用しているため、令和6年(2025年)を目途に、大規模改修、建替え又は新築移転を行いたい。

2 現姫路東消防署の概要

敷地面積：3985.02 m²

庁舎種別	構造	延べ床面積	建築年	経過年
本庁舎	鉄筋コンクリート造2階	1580.53 m ²	S50(1975)	44年
付属棟	コンクリートブロック造平屋	284.31 m ²	S50(1975)	44年
倉庫棟	鉄骨プレハブ造2階	113.40 m ²	S61(1986)	33年

(基準：2019.4)

3 現姫路東消防署の敷地について

姫路城中曲輪に位置し、「特別史跡姫路城跡」に指定されている。また、「特別史跡姫路城跡整備基本構想(H20.3)」により、建物基礎等にかかる新たな掘削については、原則認められていない。

ただし、姫路東消防署は、姫路城等の史跡の消火・防災機能として、特別史跡内に不可欠な施設とされている。

4 姫路城の防災について

姫路城では防災設備の老朽化や文化財の防災対策が全国的な課題となっていることなどから、防災設備の改修を予定しているが、姫路東消防署についても、姫路城の防災対策と一体となった防災機能の維持・向上が求められる。

5 対応案

庁内外の関係部局と協議を行うとともに、調査・検討を進め、①大規模改修、②建替え、③新築移転の中で、最適な方針を検討中。